

《履修上の留意事項》【今年度開講なし】

英語を共通言語とした研修になるので、英会話力の向上と英語の専門用語の修得に努めること。
実習の際して、歯科臨床のしっかりとした知識を身につけ臨むこと。

《担当者名》教授／斎藤 隆史 教授／安彦 善裕 教授／古市 保志
教授／永易 裕樹 教授／長澤 敏行 教授／越野 寿
准教授／佐藤 圭史

【概 要】

海外における歯学部又は病院に短期間滞在し（1週間程度）、実習主体の臨床研修を受ける。歯科臨床の知識を深め技術を高めるのみならず、海外での生活の中で国際人としての素養を身につける。

【学習目標】

- ☆ 訪問地の歯科臨床の特徴について簡単に説明する。
- ☆ 訪問地の歯科医療従事者と簡単なコミュニケーションをとる。
- ☆ 国籍に関わらず、友好的に国際的な人間関係を築く。

【評価方法】

海外研修の発表会の内容により評価する。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1.人々のライフステージにおける疾患の予防、診断および治療を実践するための基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健、歯科医療技術を修得する。

DP2.「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観、豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につける。

DP3.疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる能力を身につける。

DP4.歯科医療の専門家として、地域的、国際的視野で活躍できる能力を身につける。

DP5.チーム医療（保健と医療と福祉）において協調し建設的に行動できる態度と能力を身につける。